

# 宗祇さん

令和4年2月28日発行 裾野市宗祇法師の会

連歌師宗祇法師は、室町時代、応永二十八年、滋賀県能登川町で生を受けました。宗祇は連歌を格調高い文学性、芸術性のあるものへと磨き上げ、旅を通して京都の文学を地方へ伝えました。優れた連歌集や新撰菟玖波集の編纂など、その功績は甚大なものと言われています。

令和三年は宗祇法師生誕六百年の記念の年に当たります。

## 宗祇法師 生誕600年 記念号

裾野市宗祇法師の会ではこれを祝い、二つの記念事業を行いました。講演会では、多くの方に連句を知ってもらうため三人の著名な文学者に連句の魅力を語って頂き、また定輪寺への百韻奉納では全国の連句愛好の皆さまにご協力いただきました。コロナ禍を縫って、宗祇を偲ぶ良い節目の年とすることができました。

## ごあいさつ

裾野市宗祇法師の会 会長

定輪寺住職 中村 雄介



昨年、連歌師宗祇法師ご生誕600年の記念の年を迎えました。この記念の節目にかかわれたことに宗祇法師の会を代表して感謝申し上げます。

また、コロナ禍の下、平和を愛されました宗祇法師のご遺徳に対し、感慨無量を覚えるところでございます。

ご生誕600年記念事業として、令和3年10月30日には「紡ぐ言葉・紡ぐ人の和」と題して、文芸評論家の三浦雅士先

生、歌人の小島ゆかり先生、俳人の長谷川権先生にお越しいただき、裾野市民文化センターにて講演会を開催致しました。お三方にはご創作いただいた歌仙を軸に、その句を楽しんでご解説いただきました。ご参加の皆様にも大変ご好評いただき、会としましても幸甚に存じます。

また、11月21日には、定輪寺にて百韻奉納式典を行いました。式典に向け日本連句協会の皆様にもご尽力を賜りながら準備をし、作品の応募をお願い致しました。このお願いに対し、日本全国14結社の皆様より温かな句をお納めいただきまし

た。そして、お納め頂いた作品を取りまとめた冊子も発行させていただきました。感謝の念に堪えません。

宗祇法師は1502年(文亀2年)7月30日82歳をもって、愛弟子の宗長たちに見守られる中、箱根湯本にて永眠され、「富士の見える里に埋葬してほしい」との生前のお言葉通り、宗長たちにより8月3日に裾野市桃園の定輪寺に埋葬されました。お近くにお越しの際は、是非お参りいただき、宗祇法師のご遺徳にお触れいただければ幸いです。

最後に、宗祇法師のご冥福をお祈りするとともに、新型コロナウイルスの1日も早い終息を祈念し、宗祇法師ご生誕600年の年に、ご縁をいただきましたすべての皆様にご感謝を申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。